



18世紀フランス・ロココの音楽に酔いしれる 政令指定都市移行記念レクチャーコンサート

12月1日(土) 午後2時からアクトシティ浜松中ホールで浜松市政令指定都市移行記念楽器博物館第73回レクチャーコンサートを開きました。演奏は世界的演奏家の中野振一郎さん。「18世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界」と題したこのコンサートは、楽器博物館が所蔵するチェンバロ（フランス語ではクラヴサン）の名器を使い、18世紀のフランス、ヴェルサイユ宮殿を中心に花開いたヴェルサイユ楽派の音楽を紹介し楽しんでもらおうと企画したものです。

演奏に使用した楽器は、パリの名工、王室御用達の楽器製作者ブランシェ2世が1765年に作った2段鍵盤の豪華なチェンバロで、ブランシェ一家の作った現存するチェンバロ8台のうちのひとつで世界的にも貴重なもの。楽器博物館では10年の歳月をかけて、丁寧に修復調整をしてきたもので、現在とても良い状態です。楽器博物館棟から外に出て演奏するのは今回がはじめてでしたが、中ホールの大きな空間は繊細極まりない響きに満たされました。

18世紀のフランスはロココ文化全盛の時代。太陽王ルイ14世(1643～1715在位)に時代に始まりフランス革命(1789)をもって終わりを告げるこの文化は、貴族のサロンを舞台に「言葉」から「マナー」にいたるまで「洗練」と「美」のきわみを追及した文化です。音楽においては、文学趣味と融合して、「ポルトレ」(肖像

像画の意味)とよばれる標題のついた作品が流行しました。この演奏会では、このポルトレ音楽を中心にして、クーブラン、ラモー、フォルクレ、デュフリ、ロワイエといった17世紀から18世紀にかけて活躍した作曲家の作品を演奏しました。

夜鳴きうぐいすの声を模倣した「恋のうぐいす」、ルイ15世を表していると言われる「葦」、王家の紋章をイメージした「百合の花ひらく」、言い寄っても相手にしてくれない女性をたとえた「神秘のパリケード」など大作曲家クーブランの作品では、ポルトレの代表作を味わいました。「鳥たちのさえずり」、「優しい訴え」などラモーの作品では、クーブランとは一味違った美しい旋律を愉しみ、フォルクレの「ジュピター」やロワイエの「スキタイ人の行進」ではクラヴサンの豪華な響きを堪能。デュフリ「三美神」では、もうこれ以上の装飾美は無いというほどの感動を味わいました。

中野振一郎さんと楽器博物館長の嶋和彦さんによる対話形式の司会進行でコンサートが進んでいきましたが、お二人とも関西の出身とあって、笑いを交えた絶妙のトークが、演奏会の緊張を和らげました。

この演奏会は、NHKが全編を収録、テレビ衛星放送BSクラシック倶楽部で放送されることになっています
放送予定 2月8日(金)午前6:00～6:55、2月15日(金)午後1:00～1:55 いずれもNHK衛星ハイビジョン。

企画展「親指ピアノ」 終わる



展示全景



ムピラ・ミニコンサート



リンバ・ミニコンサート



体験コーナー

11月3日(土)から12月2日(日)まで企画展「親指ピアノ」が開かれ、1,032人の方が見学されました。親指ピアノはアフリカの楽器で、板や箱に取り付けた小さな金属片を親指ではじいて鳴らす楽器です。アフリカ各地に分布していて、サンザ、リンバ、イリンバ、ムピラなど名前はさまざまです。この展覧会では、アフリカ各地の伝統的な親指ピアノや現代の作家が作ったモダンアートのような親指ピアノなど約70点を展示。国立民族学博物館や個人演奏家、研究者から貴重な楽器と映像、写真もお借りして、親指ピアノの構造や歴史、多様性、用途について紹介しました。

初日はジンバブエの親指ピアノ、ムピラの演奏者中村由紀子さんを中心とするグループ、ンピラ・ンゴマ、最終日には、同じくズバ・ネ・ズバ・ンピラの皆さんによるミニコンサートを開催、また11月17日(土)にはサカキマンゴーさんによるタンザニアの親指ピアノ、リンバのワークショップ、18日(日)はミニコンサートを開催。太鼓とは一味違うアフリカの素敵な楽器の魅力を楽しみました。

企画展「親指ピアノ」
会期：平成19年11月3日(土)～12月2日(日)
入館者：1,032人

レクチャーコンサート アイリッシュ・アフタヌーン ～ホイッスルとダンスの至芸～



日時：平成19年10月7日(日) 14:00～16:00
場所：アクトシティ音楽工房ホール
出演：ショーン・ライアン(ホイッスル)、キアラ・ライアン(ダンス)、まつい綾(ダンス)、守安功&雅子(お話、フルート、ホイッスル、ハーブ、コンサーティーナ、打楽器他)
入場者：266人

今回のレクチャーコンサートは、アイリッシュ・アフタヌーンと題して、アイルランドに伝わる音楽をお楽しみいただきました。ホイッスルを演奏したのは、アイルランドが世界に誇る最高の笛の名手で、また、歌の名人としてもよく知られ、世界中に熱烈なファンがいるショーン・ライアンさん。そのホイッスルに合わせて16歳の娘、キアラ・ライアンさんがアイリッシュ・ダンスを披露しました。この二人に、守安功&雅子さんのフルート、ハーブ、コンサーティーナ、打楽器が加わり演奏は華やかになっていきました。演奏の合間には、ショーンさんから妖精の話、ライアン一家が住むお城に出る幽霊の話など次々と面白い話が飛び出し、会場は大いに盛り上がりました。アイリッシュな雰囲気にも包まれた、素敵な午後のひとときでした。

世界の楽器 演奏体験ワークショップを開催

インドネシア 青銅のオーケストラ ジャワ・ガムラン (中級編)

日時：Aコース 平成19年10月19日(金)
18:00~21:00
Bコース 平成19年10月20日(土)
18:00~21:00
場所：展示室 講師：中山真 参加者：25人

インドネシア・ジャワ島の青銅打楽器「ガムラン」の演奏体験ワークショップ。今回の中級編は、当ワークショップの過去の受講者を対象に行いました。初級編で取り組んだ楽曲「トロポンバン」に、今回さらに弦楽器や声楽を加え、華やかに演奏しました。受講生の皆さん、勘を取り戻すまでに少し時間を要しましたが、慣れてくるとさすがは経験者。複雑なリズムにも果敢に挑戦する姿が見られました。ガムランの新たな魅力に触れることができました。



アフリカの素朴な親指ピアノ リンバ

日時：平成19年11月17日(土)
Aコース 13:00~14:30
Bコース 15:00~16:30
場所：アクトシティ研修交流センター
講師：サカキマンゴー(リンバ演奏家)
参加者：25人

11月3日から開催していた企画展、親指ピアノにちなんだワークショップを行いました。講師は昨年度に引き続き、今年も日本を代表するリンバ奏者のサカキマンゴーさん。まずは楽器を使わず、アフリカ独特の複雑なリズムを身体でつかみました。アフリカ独特の複雑なリズムと親指の痛みに悪戦苦闘するものの、マンゴーさんのユーモア溢れるご指導のもと、笑いの絶えない90分となりました。



韓国を代表する両面太鼓 チャンゴ (初級・中級編)

日時：初級編 平成19年12月2日(日)
13:00~14:30 / 15:00~16:30
中級編 平成19年12月9日(日)
13:00~16:00
場所：アクトシティ研修交流センター
講師：イ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)
参加者：32人

朝鮮民族の伝統的な太鼓で、韓国の人にとっても親しまれている「チャンゴ」のワークショップを行いました。楽器の奏法とともに、「陰・陽」や「起・承・結・解」といった、韓国の文化に根付いた考え方が紹介され、それを基に演奏が組み立てられていきます。「ドン」「クン」「タ」という3種類の叩き方や「チュンモリ」「フィモリ」といったリズムを学びました。表面的な楽器の奏法だけでなく、楽器を通じて韓国の文化にも触れられた、有意義なひとときでした。



当館所蔵チャンバロの名器によるCD 新発売

当館所蔵 1765年製ブランシェ2世作のクラヴサンによるCDを11月16日に発売しました。少年王ルイ15



世を表したといわれる「葦」や、ロココ様式の集大成ともいえる豪華な装飾美を持つ名曲「三美神」を収録。一遍のCDを通して典雅な絵巻のような世界が広がります。平成9年からの修復作業や弾き込み、レクチャーコンサートなどに携わってこれ

た中野さんが余すところなく引き出すこの楽器の魅力をお楽しみください。ミュージアムショップで販売しています。

●浜松市楽器博物館コレクションシリーズ 13 三美神

～18世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界～
名器ブランシェ・チェンバロによるロココの精華

演奏：中野振一郎

使用楽器：チェンバロ（フランソワ・エティエンヌ・ブランシェ2世作・1765年・パリ）

録音・製作：コジマ録音

録音日：平成18年10月5、6日

価格：2200円(税込)

◆これからの催し物

- ミュージアムサロン 職員やゲストによる演奏
 - 1/13(日)「フォルテピアノ」出演：長谷川由輝子
 - 1/20(日)「インド・パーンスリー」出演：中川博志
 - 2/10(日)「リードオルガン」出演：篠原舞(当館職員)
 - 2/17(日)「デュオ・ピアノ」出演：森本佐知子、藤田明日香(当館職員)
 - 3/16(日)「中国の古琴」出演：山寺美紀子
 - 3/30(日)「いろいろな笛」出演：嶋和彦(当館館長)

※時間は開催日により異なりますので、お問い合わせください。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日10:00～16:00
1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 特別レクチャーコンサート
「クララ&ロベルト・シューマン 愛、輝きと優しさ」
2/23(土) 14:00 アクトシティ音楽工房ホール
演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)
桐山建志(ヴァイオリン)ほか
- レクチャーコンサート
「シルクロードの音世界～トルコの民俗音楽と踊り～」
3/24(月) 18:30 アクトシティ音楽工房ホール
演奏：トゥルコアーズ民俗舞踊アンサンブル
- 世界の楽器体験ワークショップ
「パリ・ガムラン」
1/12(土) Aコース 17:15～ Bコース 19:30～
講師：皆川厚一
「長唄三味線」
2/3(日) Aコース 13:00～ Bコース 15:00～
講師：杵屋邦寿

◆博物館日誌

- 10/7(日) レクチャーコンサート
「アイリッシュ・アフタヌーン～ホイッスルとダンスの至芸～」
14:00 アクトシティ音楽工房ホール
演奏：ショーン・ライアン(ホイッスル)、キアラ・ライアン(ダンス)、守安功&雅子(お話、フルートほか)
入場者266名
- 10/14(日) ミュージアムサロン「アンクルンを弾こう!」14:00
出演：梅田徹(当館職員) 参加者36名
- 10/16(火)～10/17(水)
移動楽器博物館(浜松市立伊目小学校)

- 10/19(金) ワークショップ「ジャワ・ガムラン」(中級編) 18:00
講師：中川 真 参加者11名
- 10/20(土) 講座「楽器の中の聖と俗」第40回「食器・武器・楽器」
14:00 アクトシティ研修交流センター
講師：西岡信雄 参加者28名
- 10/20(土) ワークショップ「ジャワ・ガムラン」(中級編) 18:00
講師：中川 真 参加者14名
- 10/21(日) ミュージアムサロン「カリンバ」14:00、15:30
演奏：ロバート・ロイド 参加者161名
- 11/3(土) 文化の日 無料開放 入館者823名
- 11/3(土)～12/2(日) 企画展「親指ピアノ」
入館者8537名
- 11/3(土) ミュージアムサロン「ンゴマ」 14:00、15:30
出演：ンピラ・ンゴマ 参加者153名
- 11/11(日) ミュージアムサロン「チェンバロ」14:00、15:30
演奏：小玉宏 参加者104名
- 11/13(火)～11/14(水)
移動楽器博物館(浜松市立横山小学校)
- 11/15(木)～11/17(土)
移動楽器博物館(浜松市立二俣小学校)
- 11/17(土) ワークショップ「リンバ」13:00、15:00
講師：サカキマンゴー 参加者25名
- 11/17(土) ミュージアムサロン「ニッケルハルパ」11:00、13:30
演奏：本田倫子 参加者83名
- 11/18(日) ミュージアムサロン「リンバ」14:00、15:30
演奏：サカキマンゴー 参加者125名
- 12/1(土) レクチャーコンサート「18世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界～博物館所蔵の名器“ブランシェ”による～」
14:00 アクトシティ中ホール
演奏：中野振一郎 入場者506名
- 12/2(日) ミュージアムサロン「ムピラ」14:00、15:30
演奏：中村由紀子 参加者106名
- 12/2(日) ワークショップ「チャンゴ」(初級編) 13:00、15:00
講師：イ・チャンソプ 参加者20名
- 12/4(火)～12/6(木)
移動楽器博物館(浜松市立新原小学校)
- 12/9(日) ワークショップ「チャンゴ」(中級編) 13:00
講師：イ・チャンソプ 参加者12名
- 12/15(土) 講座「楽器の中の聖と俗」第41回「揺る音文化」
14:00 アクトシティ研修交流センター
講師：西岡信雄 参加者25名

利 用 案 内

開館時間：午前9:30～午後5:00
休館日：毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、その他施設点検等のための臨時休館日
常設展観覧料：個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)
大人(大学生以上) 400円 320円 240円
中人(高校生) 200円 160円 120円
※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館だより

平成20年1月10日発行 No.50
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市中区中央3-9-1
TEL: 053-451-1128
FAX: 053-451-1129
URL: <http://www.gakkihaku.jp>
MAIL: wakuwaku@gakkihaku.jp
印刷 株式会社シバプリント